

ペンギンが
おしえてくれる
幸せのヒント

Flipping Brilliant

**A Penguin's Guide to
a Happy Life**

ジョナサン・チェスター
パトリック・リーガン
宮田攝子 訳



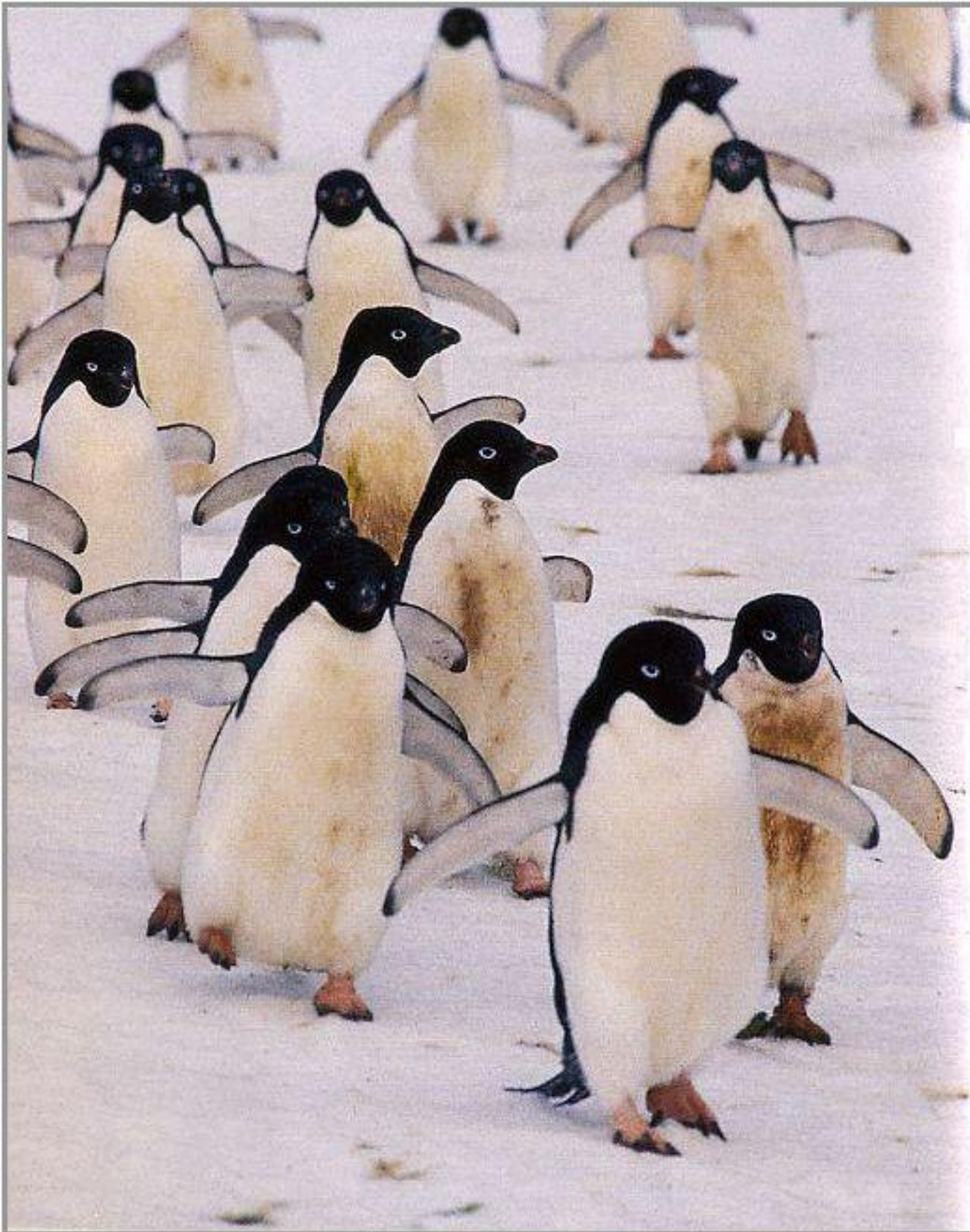
二見書房

ペンギンにまなぼう。

Introduction

「ペンギンは飛べない鳥だ」なんていう人は、
きっと海の中にいるペンギンの姿を見たことがないのだろう。
海の中のペンギンは、陸上とはまるでちがう。フリッパーとよばれる、
短く、ひらたい翼は、陸上ではほとんど役に立たないが、水中では
強力なオール役目をはたす。あのずんぐりした体で、流線形の魚雷さながらに
水中をぐんぐん突きすすむ。海の中を自由に羽ばたき、猛スピードでえものを
追いかけて、かなりの深さまで潜水もする。ペンギンは、海の中では自由自在。
まさに水を得た魚のようだ。そんなペンギンたちは、ぼくたち人間に
大切なことをおしえてくれる。どんな動物だって、
なにかしら得意なことはあるものだ。自分の力を発揮できる場さえあれば、
だれでも最高の人生をおくることができるのだと。
野生のペンギンたちのすてきな写真を満載したこの本は、
ただのペンギンの本じゃない。彼らと同じく
2本足で歩く飛べない動物、そう、ぼくたち人間への
メッセージをこめた本だ。人間だって、ときにはは
つまずいたり、みっともない姿をさらしたりもするけど、
本当はみごとに羽ばたける力を秘めているのだから。
ペンギンはパートナーや仲間と協力しながら、
本能にしたがい、実践的な生き方をしている。
ものすごく愉快そうなきときもある。
地の果てでくらしている、この太っちょな鳥から、
たくさんのことをまなぼうじゃないか。





世の中は、 白か黒か、だけじゃない。

Life is not black and white.

ペンギンには、2種類ある。こっちにむかって歩いてくる白いペンギンと、背をむけて去っていく黒いペンギン……。

たぶんこれは、南極で大昔からあるジョークだろう。

もちろん、これはウソ。本当は、世界には17種のペンギンがいて、たいていは白と黒以外にも、なにかしら色がある。

人間は、とかくものごとを白か黒かで判断して、善悪の区別をはっきりとつけたがる。でも、

世の中は、そんなに単純なものじゃない。

じゅうにんといふ
十人十色というとおり、考えや好みはみんな違い、
さどあいらく
喜怒哀楽、さまざまな感情がある。

だからこそ、生きていくのが
おもしろいんだ。



自分ひとりで 立ち向かおう。

Stand up for yourself.

残念ながら、この世の中、親切な人ばかりとはかぎらない。
いじめっ子やいやなやつ、悪い人が大勢いるし、
てんで話が通じない困った相手に出くわすこともある。
でも、くじけず、自分ひとりで立ち向かおう。
たとえ痛い目にあうことがあるとしても。
いじめっ子が空威張りしてるだけってことも、よくあるから。

